

# 沖縄らしい エコアイランド

沖縄らしい自然や文化、伝統を大切に自然や文化、伝統を  
大切にする島を目指して。  
貴重な自然環境を守り  
未来へ繋ぐためのアクションや  
自然と調和した  
ライフスタイルの実現とは？

エコアイランド宮古島の取り組み

## 島の環境を 島民みんなで 守っています！

近年、世界的にも自然環境への  
負荷増大が懸念される中、宮古島  
は生活用水を地下水に依存して  
おり、ほぼ全てのエネルギーの確保  
を島外に頼る地理的特性から、「エ  
コ」は重要な課題でした。「島を  
守り、ずっと住み続けられるよう  
に」。そんな思いから生まれたの  
が宮古島市が取り組む「エコアイ  
ランド宮古島」です。2009年  
には、CO<sub>2</sub>排出の削減に挑戦す  
る島嶼型の「環境モデル都市」と  
して国内で唯一選ばれ、様々な活  
動を通して自然と調和したエコな  
暮らしを広げています。

エコアイランド宮古島  
公式ウェブサイト  
<https://eco-island.jp/>



## 宮古島を想う気持ちの お金「理想通貨」

エコにつながることをする  
と、ちょっといいことが起き  
るといふ仕組みを「理想通貨」  
という形で実現。例えばビー  
チクリンをはじめとしたエ  
コ活動に参加すると理想通貨  
を受け取れ、飲食店などの協  
力店の善意でドリンクや割引  
などのサービスを受けられる。  
エコの活動を島全体で応援す  
るための環境に優しい取り組  
みです。



通貨の単位は方言で宮古を  
指す「みゃーく」。

## エコアクション カンパニー認定制度

企業におけるエコ活動の活発化  
を図るための制度。市がエコアイ  
ランドの推進に協力する企業を認  
定することで、エコアイランドのP  
Rや、エコに積極的な企業を市民  
に知ってもらうなど、島全体に環  
境を守る意識を広げる仕組み。



基準に応じて3タイプの認定がある。

## フリーペーパー 『島の色』

環境や暮らし、  
エコに関連する  
情報発信を重視  
した官民が連携  
して発行する広  
報誌。観光マナーやエシカル  
消費の啓発など、市民も観光  
客もエコを考えるきっかけに。



## 活動を応援する ふるさと納税

ふるさと納税の使い道の一  
つで、宮古島の環境を守る活  
動に活用される「エコアイラ  
ンド宮古島応援コース」では、  
島の飲み水となる地下水の汚  
染を防ぐ活動や固有種保全外  
来種対策など、環境保全活動  
を寄付で応援できます。



## 奇跡の森「やんばる」、 どうやって守っているの？

### 行政や民間団体、 地域住民が 協力しています！

多くの動植物が息づく、生物  
多様性に富んだやんばるの森。  
今年5月、ユネスコの諮問機関  
より世界自然遺産登録の勧告を  
受けました。

その貴重な自然を守り未来に  
残すため、日々多くの人た  
ちが保全活動を行っています。例  
えば、行政と地域住民が協力し  
て行う、林道や森林の見回り、  
外来動植物対策、ロードキル対  
策など。その他にも、希少種を  
はじめ野生動物の命を守る活動  
をするNPO法人や、やんばる  
の自然について学び、魅力を伝  
える生徒たちなど、あらゆる方  
法でやんばるの森と生き物たち  
を守っています。

### 野生動物を守るために活動！

NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄

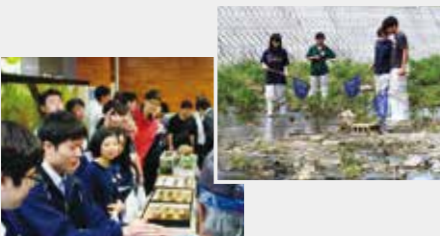
環境省と協力しケガをしたヤンバルクイナの  
救護や、飼育下繁殖に取り組んでいる団体。  
傷ついた野生動物の治療・保護や、森や山に  
捨てられた猫をこれまでに千匹以上新たな里  
親に譲渡するなど、多岐に渡ってやんばるの  
自然と生き物を守っています。



### やんばるの自然の素晴らしさを発信！

沖縄県立辺土名高等学校

県内で唯一、環境や自然について学ぶ環境科  
があり、校内で生き物博物館を運営してい  
る辺土名高校。やんばるの森の環境調査をは  
じめ、地域の子供達に自然の魅力を伝える  
体験学習を実施するなど、生き物や自然を守  
る責任を学び、伝えています。



## 私にもできる SDGs



### 旅先の自然や暮らしを思いやる エシカル(倫理的)な旅を

Us 4 IRIOMOTE  
<https://www.us4iriomote.org/>



「エシカル」とは「倫理的な」という  
意味を持ち、環境や社会への配慮を  
表す言葉として使われています。

貴重な自然を有する西表島には、  
人口約2千人に対し、年間約25万人  
もの人が訪れており、環境負荷が問  
題視されています。そんな島の未来  
を守るために来訪者へエシカルな旅  
の大切さを伝えているプロジェクトが

「Us 4 IRIOMOTE」。ウェブサイトで  
島の文化や来訪時のマナーを発信す  
るほか、環境配慮プログラムや、プ  
ラスチックゴミで作る参加型のアート  
プロジェクトを実施しています。

エシカルな旅の第一歩は、旅先の自  
然と文化を「知る」ことから。そこ  
から生まれる思いやりが、旅をもっ  
と深いものにしてくれるはず。



今号の表紙  
ヤンバルクイナやリュウキュウヤマ  
ガメなど、貴重な生き物が暮らすや  
んばるの森を、この先も守りたいと  
の願いを込めて描いています。